

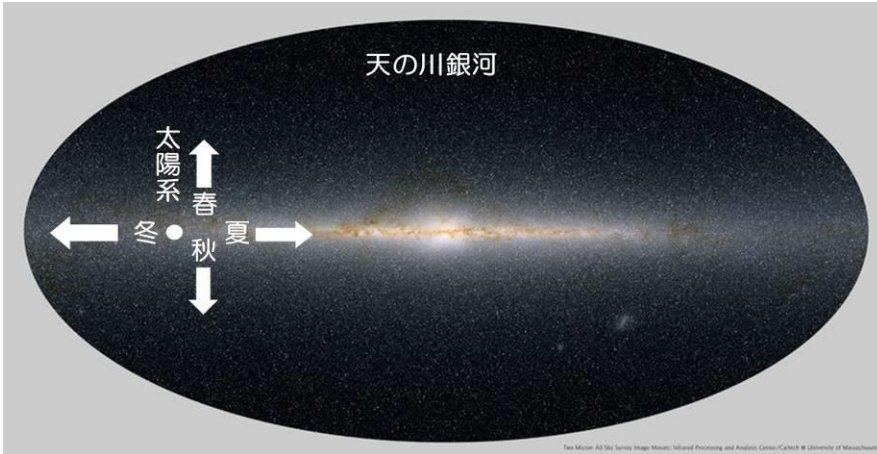
# 銀河

～ 春は銀河を見るチャンス ～

春は銀河が見やすい季節です。遠いところにあり、非常に淡い天体ですのではっきりとみるのは難しいかもしれませんが、めったにないチャンスです。**(※星雲や銀河は写真のように見えません)**  
また、プラネタリウムで**オリジナル番組「銀河」**を上映しています。ぜひこちらをご覧ください。

## 春はなぜ銀河がみやすい？

～ 銀河の見える窓がある？ ～



春の星座方向は星が少ないため、空にぽっかり開いた窓のように遠くの銀河を見通すことができます。そこから「宇宙の窓」とも呼ばれています。ちょうどこの方向に「おとめ～かみのけ座銀河団」と呼ばれる銀河の大集団があるので、多くの銀河を見ることが出来ます。(左画像は2MASSによる天の川銀河)

## 銀河

～ 色々な種類があります ～

	種類	場所	特徴	代表天体
銀河	楕円銀河	天の川銀河の外側	楕円形をした銀河で、年老いた星が多いのが特徴。	M87 (おとめ座)
	渦巻銀河		中央に「バルジ」というふくらみがあり、そこを取り巻くように渦を巻いたような姿をしている。	M51 (りょうけん座)
	レンズ状銀河		凸レンズのような形をした銀河。	
	不規則銀河		上の3つにあてはまらない銀河。	M82 (おおぐま座)

## おすすめ天体

～ これは見ておきたい！ ～



おとめ座にある楕円銀河で、地球からの距離は 5390 万光年。以前から中心部にブラックホールの存在が知られていたが、ブラックホールとその影の存在を初めて撮影に成功した、とのニュース報道があった話題の天体。



おおぐま座にある不規則銀河で、地球からの距離は 1150 万光年。すぐ近くに渦巻銀河 M81 があり、相互作用によって M82 では爆発的な星形成が進行して不規則な形になったと考えられている。



りょうけん座にある渦巻銀河で、地球からの距離は 2800 万光年。大小2つの銀河がつながっているため、子持ち銀河という名前が付けられた。